

ハスモンヨトウ情報第1号 (ダイズ)

平成25年8月1日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生状況

フェロモントラップによるハスモンヨトウの7月（第5半旬まで）の誘殺数は、概ね平年並で推移しています（図1）。

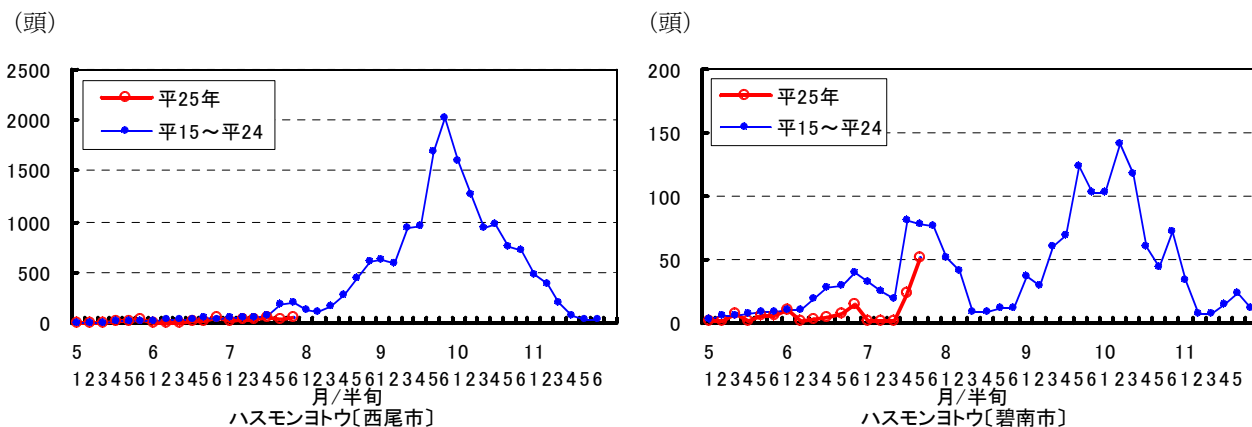


図1 フェロモントラップによるハスモンヨトウの誘殺数

2 今後の状況

気象予報によれば、8月は気温が「平年並」と「高い」確率がそれぞれ40%、降水量は「平年並」と「少ない」確率がそれぞれ40%と、ハスモンヨトウの発生に好適な条件が予想されています。そのため、現状の発生量が平年並でも、8月上中旬頃から発生量が急増する可能性があるため、ほ場での発生動向に注意が必要です。

ほ場での観察をしっかりと行い、白変葉（図2）及び幼虫（図3）が見られたら、下表を参考に防除しましょう。



図2 ハスモンヨトウによるダイズの白変葉



図3 ハスモンヨトウの幼虫

表 ダイズのハスモンヨトウに対する主な防除薬剤

| 薬 剤 名 |
|------------|
| ロムダンフロアブル |
| ラービフロアブル |
| トレボンEW |
| マッチ乳剤 |
| トルネードフロアブル |
| プレバソフロアブル5 |
| マトリックフロアブル |

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努めましょう。